

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------------|----------------|-------------|
| 事業所番号 | 3970101329 | | |
| 法人名 | 株式会社 アイ・エム・シー ライフステージ | | |
| 事業所名 | IMCグループホーム 札幌ハウス | | |
| 所在地 | 高知市札幌14番3号 | | |
| 自己評価作成日 | 平成26年8月15日 | 評価結果 市町村受理日 | 平成26年11月14日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「生活力」「人間力」「地域力」を柱にした支援を行っています。
 入居者様の持てる力を見つけ、引き出し、共に喜び感謝します。認知症介護の専門職として、安心・安全を心がけ『生活を共にする者』としての姿勢を大切にしています。
 入居者様の思いを尊重し、その人らしい生活が出来るよう支援をさせていただきます。
 人生の先輩である入居者様を敬い、仕事を通じて職員も人間力を高めます。
 地域との交流を深め、より良い関係づくりに取り組んでいます。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaiskensaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kihon=true&ligosyoCd=3970101329-00&PrefCd=39&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|--|
| 評価機関名 | 高知県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ |
| 訪問調査日 | 平成26年9月18日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、比較的新しく宅地開発された地域にあり、町内会の組織が無いなかで、近隣地区の老人クラブと交流を重ね、運営推進会議のメンバーになってもらうなど地域交流に努力している。今年4月に事業所に隣接して幼稚園が開園したことで、園児の訪問や防災面での協力関係が始まっており、今後、行事等を通じて園児の父母への交流が広がることを目指している。
 毎月のフロア会には全職員が出席して、利用者についての意見交換やケアの振り返りのほか、研修の成果発表などの勉強会を行っている。また、ユニットごとに年間目標を立て、理念に沿って利用者がその人らしく満足した生活が送れるよう取り組んでいる。管理者は3か月に1回職員との個人面談を行い、職員のストレスや家庭環境の把握に努め、働きやすい職場環境を作るとともに、職員の「夢シート」により企画や職務への意欲を引き出している。
 理念をわかりやすく「生活力」、「人間力」、「地域力」のキーワードで表し、開設後10年の経過のなかで変化する利用者個々の状態に寄り添い、利用者を尊重したケアに努めている。

自己評価および外部評価結果

ユニット名: 微笑みの家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|--|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 事業所理念があり、朝礼での読み合わせ等に取り組んでいる。 | 利用者の意思の尊重とその人らしさ、満足し自立した生活を理念とし、「生活力」、「人間力」、「地域力」をキーワードとしてケアに取り組み、毎朝の申し送り時の唱和と共に、評価項目を理念に照らし話し合っている。また、介護計画作成時も理念を拠り所としている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 月一度の事業所で開く喫茶会での交流や、隣の幼稚園とイベント等も含め交流している。 | 地区内の関係性が薄い中で、隣接地区の老人クラブとの交流を継続しており、毎月の事業所の喫茶会への招待や運営推進会議への参加・協力を得ている。開園後間もない隣接幼稚園との交流も始まり、今後地区内の交流を広げる起点となるよう取り組んでいる。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 行事での交流の中で相談等に応じている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 二ヶ月に一度運営推進会議を開催し、報告や話し合いを行っている。 | 地域代表に老人クラブから4名、行政、家族代表が各1名参加し、事業所の活動報告や事故報告等をもとに意見交換を行い、参加者それぞれの立場からの助言に気づきを得て、運営に活かしている。ただし、事業所は管理者のみの出席で、家族の参加も少ない。 | 会議に、各ユニット代表が出席して情報を直接共有するとともに、家族に参加を呼びかけ、より多くの家族が意見を表せるようにし、併せて会議録を全家族に配付することを期待したい。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議を通じ、報告や相談をさせて頂いている。 | 運営推進会議を中心に事業所の状況を伝え、運営体制への助言等をもらっている。また、市主催の研修へ参加して協力関係を築き、必要な時に関係課に相談している。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 研修をはじめ、職員全体に浸透するよう勉強会やフロア会で話し合っている。 | 虐待や身体拘束に関する外部研修のほか、毎月の各フロア会でケアを検証し、身体拘束とならない事故防止の方法を検討したり、精神的拘束にならない言葉かけ等について所内勉強会で話し合っている。利用者の不穏行動については専門医のアドバイスも聞き、適切な対応に努めている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 研修をはじめ、職員全体に浸透するよう勉強会やフロア会で話し合っている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 内容は理解し取り組んでいる。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約は文章だけでなく時間をかけてじっくり話し合い、説明及び相談に応じている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 契約時に苦情受付窓口や、外部の受付機関の説明を行っている。ご家族への連絡もこまめにとり、関係作りに努力している。 | 利用者にはケアを通じて思いを聞き、家族には日頃から利用者の状況に関する会話を重ねて信頼関係を築き、率直な意見が聞けるよう努めている。季節行事に合わせて年3～4回家族同士の交流の場を設け、散歩や食事形態等の要望を聞いている。また、介護計画見直し時に意見を聞いている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | フロア会や、所属長会、個別面談などの機会に話す機会を設け、意見、提案が反映できるよう努めている。 | フロア会で出された職員の意見は、管理者と各フロア長で構成する所属長会で共有している。管理者は3カ月に1回の職員との個別面談を重視して、職員がストレスをためないように個別の状況を把握し、また企画や提案等についても反映できるよう支援している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 三ヶ月に一度の面談、六ヶ月に一度の評価面接の実施をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 定期的研修への参加や、ホーム内での月一度の勉強会、会社内での技術講習などの機会を設けている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者は東部地域グループホーム連絡会に所属しているが、職員交流の機会が少ない。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 利用開始前には面接を行い、ご本人・家族の意向や状態の把握に努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 利用開始前には面接を行い、ご本人・家族の意向や状態の把握に努めている。また、施設見学を通じて具体的説明や相談などを受け付けている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 得た情報を検討し、最善の方法を提供できるよう努めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 意思の尊重、ご本人主体の生活空間を築けるよう試行錯誤し、自分たちも環境の一員だという自覚をもっている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族来施設時には、利用者やその家族の歴史をもとに共感の姿勢を大事にしている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 人に関しては尋ねて来られる方へのアプローチを行い、場所についてはドライブ等で行く機会を設けるようにしている。 | 利用者や家族からの情報をもとに、利用者、家族、職員が共に喜べる取り組みを始めており、その中で馴染みの場所や人に触れる支援も行うことにしている。また、毎月の事業所の喫茶会で知人に会ったり、家族の協力で馴染みの美容院へ行くことで関係継続の支援を行っている。 | 利用者や家族から得た、馴染みの関係の追加情報を記録するシートを検討し、今後の取り組みに活用していくことを期待したい。 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 個性を尊重したうえで、それぞれの人間関係を把握し、良い関係が築けるように努めている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去後も家族からの相談には応じ、お見舞いにも行くなど関係の持続を図っている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 意思疎通の困難な方も過去の生活歴をもとに、出来る限り本人の希望を斟酌している。 | これまでの暮らし方や本人の好きなこと、希望などを項目別に聞くアセスメントシートを使用し、担当者が本人や家族から聞き取った情報をフロア会で話し合い、介護計画に取り入れている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 生活歴のアセスメントをはじめ、ご本人や家族様からの情報も得られるよう、そこを意識した会話も行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 出来るだけ個々に合わせた支援ができるよう現状の把握に努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人の現状の観察と見極めを行い、ご家族の意向を聞きながら、意見の反映された介護計画を作成している。 | 毎月の各フロア会では全職員が出席し、日常のケアでの気づきも含め、利用者全員の状況を話し合っている。3カ月毎の見直しでは、フロア会や訪問看護師の意見を参考に、利用者、家族の意向を検討し計画案を作成している。計画案は、家族に送付し、了承を得て確定している。体調の変化や退院時には、随時見直している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別記録への記入と口頭伝達にて情報を共有し、実践や介護計画の見直しを行っている。記録は介護計画に反映させている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 時々のニーズに関しては、全体のサービスへの影響も考慮のうえ、出来る限り行うようにしている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 運営推進会議に出席して下さる方々からの情報やアドバイスを大事にし、支援に活かしている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人、家族の希望を大切にし、入居前のかかりつけ医との関係が途切れないようにしている。かかりつけ医との連絡調整も行い、関係を築いている。 | それぞれ希望のかかりつけ医に受診しており、通院には家族が付き添い、食事、排泄、バイタルチェック表等の写しと情報提供書を家族に渡して、受診してもらっている。大半の利用者は、事業所の協力医やそれ以外のかかりつけ医からの往診を受けており、受診結果は個人記録で管理し共有している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | ホーム内看護師に状況報告し、適切な受診、対応ができています。職員への指導も勉強会にて行っている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院中には度々お見舞いに訪れ、病院関係者との情報交換を行い、スムーズな退院に向けて連絡をとりあっている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | かかりつけ医師とも密に連携をとり、チームとしての支援体制を整え、ご家族様と話し合い、説明させて頂き方針を共有している。 | 利用者が重度化した場合は、事業所の指針に基づき、かかりつけ医や家族、訪問看護師等と話し合いを重ね、他施設の利用も含め本人・家族の希望とかかりつけ医等の協力のもとで、最良の終末を迎えられるよう支援している。今年、事業所では2件の看取りを行っている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | マニュアルをもとに勉強会、フロア会を通して浸透に努めている。研修では実際の救命の講習も受けている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | フロア会を通して話し合っている。ホームでは定期的に防火訓練を行っている。 | 年2回の防火訓練を実施し、内1回は消防署が立ち会っている。消防署は5分以内に到着する距離にあり、到着まで屋内外の安全な場所待機するよう指示を受けている。隣接幼稚園とは合同で防火訓練を行う予定である。津波等では、3階に避難することになっている。非常用の水・食料等は3日分を備蓄している。 | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 会話は敬語を基本に、その場その場に応じて適切な心配りができるようにしている。 | 理念にも沿って、利用者を人生の先輩として大事にし、敬語を使用することを心がけている。言葉遣いと、利用者が尊厳を保てるよう羞恥心に配慮し、不適切な場面があれば、フロア長等がその場で注意するようにしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 職員主導にならないよう努め、フロア会、ショートミーティングで話しあっている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 個々のペースに合わせた支援ができるよう支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 洋服の自己決定の支援をさせて頂き、汚れのある場合はその都度更衣の支援を行っている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備、片付けは入居者様と一緒にしている。また入居者様との会話の中から好みのメニューを取り入れる事もある。 | 季節感や利用者の要望に配慮して、法人系列の専門業者が献立とレシピ・食材を配達し、職員が調理している。きざみ食等、利用者が食べやすい形態で提供し、利用者は下ごしらえや盛り付け等、できることを手伝い、家庭的な雰囲気話題を提供しながら楽しく食事ができるようにしている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事については栄養士の管理のもとに出来ている。水分についてはこまめな提供が出来ており、水分量が少ない方への容器の変更や、ゼリー食などの工夫をしている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後の口腔ケア、自立支援を基本に行っている。 | | |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄チェック表の活用にて排泄パターンの検討や、適時のトイレ誘導を行っている。 | 介護度が高くなっても、立位が取れる限り、トイレでの排泄を基本に取り組んでいる。おむつ使用の利用者はおらず、紙パンツとパッドを使用して、トイレ誘導により機能維持に努めている。トイレまでの歩行ができるよう、休める椅子も用意している。夜間は、ポータブルトイレも利用している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 水分量、運動量の確保を基本に、便秘気味の方には腹部マッサージ、食物繊維を多く摂ってもらうなど、下剤に至るまでの対応を重視している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 回数、曜日、入浴時間等の制限はしていないが、安全安心を基本の入浴となると入浴時間が一定時間に決まってしまう。 | 入浴時間は特に決めておらず、介護度の低い利用者は自分で入浴している。見守りや介助の必要な利用者は、体調や安全面に配慮して時間を調整している。入浴を面倒に思ったり、入浴したと思っている利用者には、声かけを工夫して入浴に誘い、同性介助にも配慮して入浴を楽しんでもらうよう努めている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 日中の活動を重視し、リズムが取れるようしており、現在昼夜逆転等の方はいない。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の内容把握の指導を行っている。服薬についてはマニュアル厳守の指導を行っている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人一人の生活歴、特性を入居者様、家族様との会話の中から引き出し、日々の役割として関わって下さっている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 出来るだけ個々に合わせた支援ができるよう、努力している。散歩は雨天以外は出るようにしている。 | 各ユニットの利用者の状態により、外出の頻度は異なるが、隣接幼稚園や住宅街の散歩に日常的に出かけている。2階、3階の介護度の高い利用者も、できるだけ玄関に出て、外気に触れることで気分転換ができるよう支援している。桜や、コスモスなど季節の花見にも出かけている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 基本的に預かるようにしているが、ご希望があればいつでも対応が可能である。買い物の際には、お金を持っていただく対応などは行っている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 自由に電話を使用している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 月1回は模様替え係りを決め、季節感を出せるようにしている。 | 各フロアとも、季節に応じた飾り付けや、趣味を活かした作品、行事の時の写真などを壁にかけて、和やかな空間にしている。また、利用者がまぶしさや雑音、騒音に敏感になっていることに配慮して、光量や大きな音で刺激を与えないように気をつけている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 日々の入居者様の発言や関係性を考慮した工夫を行っている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご本人、家族様には出来るだけ馴染みの物を持ってきてもらえるようにしている。 | 居室に置く物はすべて利用者の持ち込みにしており、家族と協力してベッドやタンス、小物入れなどの馴染みの物や人形等好みの物を配置して、それぞれ利用者の個性に応じて、居心地よく過ごせる場所になっている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 必要などころには手摺を設置している。出来る事をできるだけ長く続けてもらえるよう、個々に合った対応を行っている。 | | |

| V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) | | | | | | | |
|---------------------------|--|-----------------------|----------------|----|---|-----------------------|----------------|
| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | | 1. ほぼ全ての利用者の | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | | 1. ほぼ全ての家族と |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいの | | | ○ | 2. 家族の2/3くらいと |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいの | | | | 3. 家族の1/3くらいと |
| | | | 4. ほとんど掴んでいない | | | | 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | | 1. 毎日ある | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | | 1. ほぼ毎日のように |
| | | ○ | 2. 数日に1回程度ある | | | ○ | 2. 数日に1回程度 |
| | | | 3. たまにある | | | | 3. たまに |
| | | | 4. ほとんどない | | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | | 1. ほぼ全ての利用者が | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | | 1. 大いに増えている |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが | | | ○ | 2. 少しずつ増えている |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. あまり増えていない |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | | 1. ほぼ全ての利用者が | 66 | 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) | | 1. ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが | | | ○ | 2. 職員の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | | 1. ほぼ全ての利用者が | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが | | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | | 1. ほぼ全ての利用者が | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | | 1. ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが | | | ○ | 2. 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | | 1. ほぼ全ての利用者が | | | | |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

ユニット名: なごみの家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 朝の申し送りでの読み合わせで、理念そのものは浸透している。日々の支援の場面で、状況に応じ、理念の言葉を使った指導を行う事もある。 | | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | やえもん幼稚園の園児の定期的な訪問や、行事の交流などを通じ、良好な関係が築けつつある。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域性もあり、地域住民との交流の機会も少ない現状だが、運営推進会議を通じて相談には応じさせて頂いている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は定期的開催されており、そこでの内容等がホーム内に掲示されている。今後は、フロア会等で運営推進会議の内容を報告したり、内容によっては話し合いを持つなどし、サービスに活かすように努めたい。 | | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 個々のユニット単位では、市町村との関係の構築の機会が少ないため、運営推進会議に施設長だけでなく、フロア長も交互に参加するなどして、関係性を築くようにしてゆく。 | | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 夜間は防犯上の兼ね合いもあり施錠しているが、日中は出入りは自由としている。身体拘束については、フロア会や勉強会で、定期的に禁止行為を確認したり、マニュアルの読み合わせを行っている。 | | |

| | | | | | |
|----|-----|---|---|--|--|
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている</p> | <p>高齢者虐待については、勉強会・フロア会で、マニュアルを確認し防止に努めている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>権利擁護に関しては、今まで勉強会等でもあまり議題として上がらず、学ぶ機会は少ないが、成年後見制度の利用を検討しているご家族様もいることから、活用にむけて職員の学びの機会を増やしてゆく。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約時には詳細に説明するとともに、その後不明な点があれば、その都度説明を行っている。</p> | | |
| 10 | (6) | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>ご意見BOXを一階エレベーター前に設置している。それ以外でも、面会時や家族会時、ケアプラン更新時などに、意見を伺うよう努めている。</p> | | |
| 11 | (7) | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>「夢シート」に記入欄があるほか、3カ月ごとの面談時や、希望があれば随時面談を行うなどして、対応している。</p> | | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>独自の評価基準を設け、それに応じた評価を行い、給与や昇進に反映させている。</p> | | |

| | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|--|
| 13 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>内部の研修は、職種別の研修や、バジジテストの形で行い、知識や技術の向上を図っている。</p> <p>外部の研修に関しては、推薦や希望により参加できるようにしている。個々のケアの力量について、フロア長はおおむね把握している。</p> | | |
| 14 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>同じ法人グループ内の施設との交流は、合同の勉強会や、研修などを通じ行っている。他施設の事例を検討するなど、お互いの向上に努めている。</p> | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>サービスを導入する初期段階で、よく本人の言葉に耳を傾け、共感と傾聴を行いながら、安心感を持っていただき、信頼関係が築けるように努めている。</p> | | |
| 16 | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>入居相談から利用を開始されるまでの間に、ご家族の思いをよくお聞きし、より良い関係づくりができるように努めている。</p> | | |
| 17 | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>まず必要としている支援が何であるかを検討し、他のサービス利用も含め、本人、家族の利益になるよう対応に努めている。</p> | | |
| 18 | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>人生の先輩として敬い、学ばせて頂きながら「誰もが楽しんで過ごせる空間づくり」を目標に、職員と入居者様とで笑いあえる関係性を目指し、取り組んでいる。</p> | | |

| | | | | | |
|------------------------------------|-----|--|--|--|--|
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>ご家族とのコミュニケーションを細かく取ることで、共によりよいケアにつなげてゆけるようにしている。</p> | | |
| 20 | (8) | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>できるだけ、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、ご家族に協力依頼し面会や外出の機会を作るようにしているが、重度化に伴い徐々に困難になりつつある。</p> | | |
| 21 | | <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | <p>認知症の進行もあり、相互のコミュニケーションも難しくなっているが、相性などを考慮しできる限り孤立しないよう席の配置などを工夫し、共に暮らす者の関係性を大切にしている。</p> | | |
| 22 | | <p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | <p>退去後も、季節のお便りなどを送り合う関係性ができている家族もある。退去入院された方へのお見舞いには伺い、ご家族との関係が途切れないように努めている。</p> | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | <p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>理念にある「その人らしさの追求」という言葉を意識して、本人の生活の向上を図れるよう、ケアカンファレンスを行っている。</p> | | |
| 24 | | <p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>その人らしい暮らしにつながるよう、入居前の情報収集はご家族に協力いただき、できるだけ把握に努めている。年表の作成やケアマネジャーからの情報も頂いている。</p> | | |

| | | | | | |
|----|------|--|--|--|--|
| 25 | | <p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p> | <p>健康・排泄チェックシートで変化を追うとともに、日々のケアの中で変化があれば、日誌・申し送りノートを使用し職員同士で情報を共有し、現状の把握に努めている。</p> | | |
| 26 | (10) | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>本人の日頃の発言や、ご家族の意見・意向をもとに、医師や看護師とも連絡をとりあいながら、現状に即した介護計画の作成に努めている。</p> <p>職員とは、カンファレンス開催時以外にも意見を求め、より良い介護計画の作成を目指している。</p> | | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>6月よりケース記録の記述様式が変更となり、実践・結果を記述しやすくなり、変化を見やすくしている。</p> <p>気付いたことは職員で共有し介護計画の見直しに活かしている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>入居者様は、重度化もあり、食事・入浴・排泄といった基本的な部分のニーズが主体となってきたが、業務を流れてとらえないような柔軟な対応を心がけている。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>訪問マッサージを利用し、入居者の状態の維持・改善を図ったり、幼稚園との交流でのふれあいなどで、豊かな暮らしができるよう支援している。</p> | | |
| 30 | (11) | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>往診・受診時は、希望の病院を伺っている。かかりつけ医との関係がとぎれないよう受診できるように支援をしている。</p> | | |

| | | | | | | |
|----------------------------------|------|---|--|--|--|--|
| 31 | | <p>○看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>体調の変化があれば、その都度看護師に相談・報告し、指示をもらっている。</p> | | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院時は、定期的にお見舞いに伺うとともに、病院担当者と現状や予後について話し合う機会を持ち、円滑な入退院・ホームへの帰設が適うようにしている。</p> | | | |
| 33 | (12) | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>重度化の指針を整備し、入居時に説明している。認知症等の進行や、疾病による重度化など変化が想定される場合にも、その都度家族と話し合いの時間を持っている。</p> | | | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>研修により消防署の救命講習を受けており、講習を受けた職員による勉強会を開催し、他の職員への伝達を行い、実践力向上に努めている。</p> | | | |
| 35 | (13) | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>マニュアル整備し、緊急時の対応等を確認しているが、地域に町内会がない事もあって、協力体制はどちらかと言えば十分とは言えない。隣接施設である「やえもん幼稚園」とは提携し、災害時の避難場所となっている。</p> | | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | | |
| 36 | (14) | <p>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p> | <p>人生の先輩として敬い、日々の支援の中で不適切な場面があれば、その都度指導し、改善を図っている。</p> | | | |

| | | | | | |
|----|------|--|--|--|--|
| 37 | | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p> | <p>重度化により、自己決定が難しい場面もあるが、洋服の選択など、できる限り自己決定して頂くよう配慮している。</p> | | |
| 38 | | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>職員主導の業務の流れになりがちであるが、本人のペースを尊重した対応を意識し努めている。</p> | | |
| 39 | | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p> | <p>衣服の着くずれや汚れなどがあれば、適宜着替えを行うようにしている。 髪型など、自分で整えられる方には極力自分で行って頂き、全面的な支援にならないよう配慮している。</p> | | |
| 40 | (15) | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>重度化もあり全体的には少数だが、下ごしらえや盛り付けなどを行って頂いている。 職員もともに食事を摂り、楽しめるようにしている。</p> | | |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>管理栄養士が献立をたてており、バランスのとれた食事となっている。食事や水分量が不十分な方には、ご家族と相談の上、栄養補助飲料などを導入し、補完している。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p> | <p>起床時・就寝前の口腔ケアは行えている。 全入居様が訪問歯科を利用されており、清掃や治療、義歯の調整などで口腔環境の改善を図っている。</p> | | |
| 43 | (16) | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p> | <p>日中はできるだけトイレで排泄して頂けるよう、時間誘導を行っている。 夜間は、歩行や覚醒レベルに応じ、パッド交換のみでの対応となっている方も多い。</p> | | |

| | | | | | |
|----|------|---|--|--|--|
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p> | <p>牛乳・乳酸菌飲料・センナ茶などを利用し、下剤をできるだけ使わず、自然な排便に繋がるようにしている。</p> | | |
| 45 | (17) | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p> | <p>できるだけ希望に沿うようにさせていただいているが、安全面を考慮し夜間入浴は現在できていない。</p> | | |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p> | <p>日中でも疲労がみられる場合など、、ベッドやリクライニングソファで休んで頂くようにしている。日中起きていただくことで、夜間の良眠につなげるよう努めている。</p> | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | <p>内服薬の変更・追加の際など、その薬がどのようなものであるか、薬情などを通じて確認し、伝達している。症状の変化にも気をつけている。 薬局や看護課による勉強会も開催されている。</p> | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p> | <p>食事・入浴・排せつといった基本的な介助量の増大により、楽しみや気分転換といった支援は減少しているが、力を活かした役割を見出し、気分転換につなげている。介助中の会話などで少しでも入居者様の笑顔が引き出せるようにしている。</p> | | |
| 49 | (18) | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p> | <p>外出には車椅子利用が必須の方が8名となっており、全体での外出の機会は減っている。 一部のご家族様は、協力もあって、定期的な外出をされている。</p> | | |

| | | | | | |
|----|------|--|---|--|--|
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>金銭はすべてホーム預かりとなっている。希望があれば、ご家族と相談の上、購入するようにしている。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>希望があれば、電話や手紙は自由に行えている。</p> | | |
| 52 | (19) | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>時には花を飾ったり、壁に季節の飾り物をするなどして、演出に努めている。光に過敏な方もいるため、眩しすぎない配慮もしている。</p> | | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>本人の希望や状況に合わせ、一人の時間を作ったり、他者との交流の時間を設けている。</p> | | |
| 54 | (20) | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>入居当初はご家族と連携を取り、馴染みのものを用意して頂くようにしている。</p> | | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>トイレなどの案内は大きく表示し、見やすくしている。一部の箇所には保護材を巻きつけたり、目印のテープを張るなどし、安全に配慮している。</p> | | |

| V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) | | | | | | | |
|---------------------------|--|-----------------------|----------------|----|---|-----------------------|----------------|
| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | | 1. ほぼ全ての利用者の | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と |
| | | | 2. 利用者の2/3くらい | | | | 2. 家族の2/3くらいと |
| | | | 3. 利用者の1/3くらい | | | | 3. 家族の1/3くらいと |
| | | | 4. ほとんど掴んでいない | | | | 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | | 1. 毎日ある | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | | 1. ほぼ毎日のように |
| | | | 2. 数日に1回程度ある | | | | 2. 数日に1回程度 |
| | | | 3. たまにある | | | ○ | 3. たまに |
| | | ○ | 4. ほとんどない | | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | | 1. ほぼ全ての利用者が | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 少しずつ増えている |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. あまり増えていない |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | | 1. ほぼ全ての利用者が | 66 | 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 職員の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | | 1. ほぼ全ての利用者が | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | ○ | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | | 1. ほぼ全ての利用者が | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | | 1. ほぼ全ての利用者が | | | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどできていない |

自己評価および外部評価結果

ユニット名: 萌木の家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | アイ・エム・シー ライフステージの理念を共有し、迷った時にはこれを道しるべにして実践に活かしている。 | | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 月一回の札幌喫茶の開催を行い、地域の方と付き合いのあった入居者様が参加できるように取り組んでいる。今年4月に開園された幼稚園との交流を進めている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 札幌喫茶を利用して頂いた方などから相談があった時、対応させて頂いている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議に参加して下さった方々からの情報やアドバイスをフロアの問題としてとりあげ、サービスに活かしている。 | | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進会議にて連携をとらせていただいている。 | | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 定期的に研修に参加し、勉強会やフロア会で話し合い、職員への浸透を図っている。日頃より行為のほか、言葉や態度による抑制についても意識を持って対応している。 | | |

| | | | | | |
|----|-----|---|--|--|--|
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>研修への参加や勉強会の開催にて、職員全体に意識の浸透を図っている。フロアでも身体や環境を清潔に保てるよう、注意し取り組んでいる。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>入居者の中に成年後見制度を取られている方がおられ、職員の制度に対する理解のきっかけとなった。今後、より内容が理解でき活用できるよう取り組んでいきたい。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>利用者様、ご家族が十分に理解されるよう時間をかけて説明させて頂いている。</p> | | |
| 10 | (6) | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>苦情、意見箱の設置とともに要望などを気軽に話してもらえるよう、日頃からご家族とのコミュニケーション、良好な関係作りを大切にしている。</p> | | |
| 11 | (7) | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>定期的に個別面談を設けたり、フロア会や各委員会、各部会により意見の吸い上げを行い、反映させている。</p> | | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>6ヶ月ごとに評価を行い、フィードバックを行っている。 定期的に個別面談も行っている。</p> | | |

| | | | | |
|------------------------------|--|---|--|--|
| 13 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>事業所内では月一回の勉強会を開催し、段階に応じた研修も全事業所合同で行っている。 外部研修にもできるだけ参加するようにしている。</p> | | |
| 14 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>管理者はGH連絡会に参加し交流を図っている。職員は、同じ法人内の施設との交流の機会を持っている。</p> | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>利用開始前に面接を行い、状態の把握を行っている。見学に来て頂いたりして職員や入居者様方と会い、安心、納得して入居して頂けるよう配慮している。</p> | | |
| 16 | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>利用開始前に面接を行い、状態の把握を行っている。見学に来て頂いたりして職員や入居者様方と会い、安心、納得して入居して頂けるよう配慮している。</p> | | |
| 17 | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>状態に応じた最善の方法を探り、他のサービスの検討も行いながら、ご家族の希望も配慮し提案している。</p> | | |
| 18 | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>ご本人の意思を尊重した上で思いを共有し、共に暮らしていく姿勢を大切にしている。</p> | | |

| | | | | | |
|------------------------------------|-----|---|---|--|--|
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>ご家族の意思や思いを尊重し、共にご本人を支えていく関係が築いていけるよう努めている。</p> | | |
| 20 | (8) | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>機会は少ないが、ご家族の他に知人の面会や手紙、贈り物が届くこともある。また、地域からの入居者様は札幌喫茶に参加し、馴染みの方と交流が出来るよう支援している。</p> | | |
| 21 | | <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | <p>個々の人格に配慮しながら、良好な関係が保てるよう支援している。気の合う方、合わない方などの席の配置も配慮している。</p> | | |
| 22 | | <p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | <p>入院により退居となった場合は、お見舞いに行くなど、ご家族とも連絡を取り合うようにしている。</p> | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | <p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>個別にお話することや日々の言動などにより、ご本人の思いを把握出来るよう努めている。</p> | | |
| 24 | | <p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>ご本人、ご家族から生活歴や習慣をアセスメントし、介護計画などに活かしている。</p> | | |

| | | | | | |
|----|------|--|--|--|--|
| 25 | | <p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p> | <p>個々に合わせた支援が出来るよう、状態の観察など現状の把握に努めている。</p> | | |
| 26 | (10) | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>ご家族の要望を伺い、担当者会を開き、状態変化のあった時は話し合いを行った上で、随時計画の見直しを行っている。</p> | | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>個別記録に日々の様子を記録し、情報を共有しながら実践や介護計画に活かしている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>季節の行事や食事会など、ご家族と職員の交流の機会をもち、その時々合った介助方法など、ご家族の相談などに応じ対応に取り組んでいる。。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>運営推進会議に参加して下さった方々からの情報やアドバイスをサービスに活かしている。 防火訓練には消防署にも協力を依頼している。 近隣の幼稚園と相互に交流を進めている。</p> | | |
| 30 | (11) | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>かかりつけ医と必要な時には連絡や手紙等で情報を伝え、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | | |

| | | | | | |
|----------------------------------|------|---|---|--|--|
| 31 | | <p>○看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>職場内の看護師には24時間いつでも連絡、相談できる体制となっており、訪問看護師とも連絡を取り合いながら、日常の健康管理を連携して行っている。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院の際には面会に行き、病院関係者とも情報交換や相談を行っている。</p> | | |
| 33 | (12) | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>早い段階から、看取りについて医療機関、ご家族と話し合いを行い、看取りの指針を示し、密に情報の共有をしながら連携して状態に応じた対応が出来るよう準備している。</p> | | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>研修への参加や勉強会の開催を定期的に行い、マニュアルを作成して日頃から急変時の対応を話し合っている。</p> | | |
| 35 | (13) | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>定期的に防火訓練を行い、各入居者様の現状等も含め、最良の避難方法を話し合い、職員で情報の共有をしている。</p> | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | <p>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p> | <p>個々の想いを尊重し、常に尊厳の気持ちをもって接することを心掛けている。丁寧な言葉遣いで対応することを特に意識している。</p> | | |

| | | | | | |
|----|------|---|---|--|--|
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ご本人が選択できるような支援の工夫をし、意思の尊重が出来るよう努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その人なりの過ごし方やペースの把握に努め、介護計画に沿った支援をしながらも個々のペースも大切にしよう努めている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 一緒に衣類を選んだり、職員やご家族の協力で行きつけの美容院や買い物に行かれたりされている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 能力に応じて準備や盛り付け、食器洗いなど手伝って頂いている。作った食事を職員も一緒に食べ、食事中の会話の輪を広げている。 | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 個々に応じた形態での提供を行っている。食事量、水分量はチェックし把握している。摂取不良時は主治医、看護師に相談し対応している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 食後、本人の力に応じた口腔ケアの支援に取り組み、口腔状態により歯科医の往診を依頼し、アドバイスを受けている。 | | |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | チェック表を用いて個々の排泄パターンを把握し、ご本人の様子なども踏まえ、タイミングの良い誘導ができるよう心掛けている。一連の動作についても、できるだけ自立を損なわないよう注意し対応している。 | | |

| | | | | | |
|----|------|---|--|--|--|
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p> | <p>排便の状態の把握を行い、便秘傾向の方は事業所看護師と相談している。 牛乳やセンナ茶を飲んで頂いたり、水分摂取量も考慮している。</p> | | |
| 45 | (17) | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p> | <p>入浴時間など、本人の好まれる希望のある方には希望に沿えるよう努めている。その他、清潔を保つ上で必要な時は優先している。</p> | | |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p> | <p>個々のペースで過ごされ、状態や状況に応じた支援も行っている。</p> | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | <p>マニュアルに沿って行い、薬の内容の把握も出来ている。変更時は申し送りを行い、様子観察を行っている。</p> | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p> | <p>家事等できることをやって頂けるよう働きかけ、役割を持って頂いている。生け花や読書、音楽など、好まれるものの提供をしている。</p> | | |
| 49 | (18) | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p> | <p>近隣を散歩し、気分転換の支援をしている。また、回数は多くないが、ドライブ等で外出を支援している。</p> | | |

| | | | | | |
|----|------|--|---|--|--|
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>基本的にお預かりしている。ご本人が望まれ小額を持たれている方もいる。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>携帯電話を持たれている方もおり、希望されるときには、希望に添えるよう支援している。</p> | | |
| 52 | (19) | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>季節の草花を花瓶に活けて飾ったり、フロアで行った行事の写真や季節を感じる写真を飾り楽しんで頂いている。 入居者の皆様が親しみのある音楽を流したり、居心地よく過ごせる工夫をしている。</p> | | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>食卓の席など気の合う方向士で過ごせるよう配慮し、リビングのソファの配置や廊下にも休めるよう椅子を置いたり、思い思いに過ごせる工夫をしている。</p> | | |
| 54 | (20) | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>ご家族の協力のもと、ご本人の馴染みの物を持ってきていただき、安心して居心地よく過ごせるようにしてもらっている。</p> | | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>必要な場所には手すりを取り付け、家具の配置等も安全にして、出来る限り自立して暮らせるように配慮している。</p> | | |

| V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) | | | | | | | |
|---------------------------|--|-----------------------|----------------|----|---|-----------------------|----------------|
| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいの | | | | 2. 家族の2/3くらいと |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいの | | | | 3. 家族の1/3くらいと |
| | | | 4. ほとんど掴んでいない | | | | 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように |
| | | | 2. 数日に1回程度ある | | | | 2. 数日に1回程度 |
| | | | 3. たまにある | | | | 3. たまに |
| | | | 4. ほとんどない | | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 少しずつ増えている |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. あまり増えていない |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 66 | 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 職員の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | | | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない |